

この街 あの人 この人

地域を丸ごと博物館に

東いちほらエコミュージアム 赤松鐵雄さん(ちはら台南)

「住んで良かった」を広めたい

「荒廃した里山を整備すれば、もっといちほらに人が来ると思う」そう話すのは、「東いちほらエコミュージアム」の事務局の赤松鐵雄さんです。

東いちほらエコミュージアムは、地域の文化・教育・経済・福祉などの充実を目的に、「里山の環境整備」、「地域産品の開発・生産」、「地域の自然・文化・歴史的遺産の保全・復元」、「教育・福祉」の4つの事業を柱として、市津・ちはら台地区周辺で活動しています。

子どもが遊べる自然楽校を開校

赤松さんが、活動を始めたのは会社を



子どもたちが自分で考え行動できるように

定年退職した12年前。「いちほらは公園が多いのに、子どもたちが外で遊んでいない」と感じていたことから、子どもが外で遊ぶことの手助けをしたいと考えようになりました。そして自ら「市津・ちはら台自然楽校」を開校し、キャンプや田んぼ遊びなどを行います。次第に、子どもたちの参加だけでなく、地域の人々が活動の場所を提供したり、イベントに協力したりするようになりました。

「子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿を見て、自然楽校を始めて本当に良かったと思いました」と振り返ります。

上総掘りが見つない地域の絆

また、キャンプをするには「水」が必要なことから、地域住民や有識者が集まり、1年2カ月かけて無形民俗文化財「上総掘り」により井戸を掘削。この井戸の掘削に携わった人は延べ1400人にもなりました。このときの「縁」が、東いちほらエコミュージアムの設立につなが



「遊びは学び、体験は力、困難は飛躍のチャンス」

り、今に至っています。その活動の拠点となる「東国吉遊育の森」には、上総掘りの井戸だけでなく、子どもたちと造った竪穴式住居などもあります。

「いちほらはとても魅力的な場所。ここでさまざまな活動をする中で、たくさんの魅力的なものがそろって『博物館』のような地域づくりを目指したいですね」と話す赤松さんの挑戦は続きます。

東いちほらエコミュージアム
赤松鐵雄 ☎ 0076



文化の風 33

日常から心に潤いを

歴史・風土が香る唄を披露 市原市民謡大会

民謡は、日本各地の歴史や風土、日々の生活などを唄にし、多くの人々によって歌い継がれた伝統文化の一つです。愛好家が多彩な民謡を披露します。



日時 4月15日(日)午前9時～午後5時

会場 市民会館

費用 無料

申込方法 当日直接会場へ

問合せ先 市原市民謡協会・藤野 ☎ 6431、ふるさと文化課 ☎ 9853

防災コーナー 70

家の耐震・家具の転倒防止対策を

地震が発生したときに、家の倒壊や家具の転倒によりけがをしたり、それによって避難や救助が遅れたりする危険性があります。また、住宅や家財が被害を受けると、住宅再建が困難になってしまう可能性もあります。

地震から家や身を守るために、事前に住まいの安全対策をしておきましょう。
(1)耐震診断を受けて、家の安全性を確認し、必要に応じて耐震改修を行う。
(2)部屋の出入り口付近や廊下、階段などに物を置かないようにし、万が一、倒れてきても、布団の上や出入り口をふさがないように配置する。
(3)転倒防止器具などで家具を固定する。
(4)地震保険に加入し、大切な住宅や家財への被害に備える。



問合せ先 危機管理課 ☎ 9823

いちほら 歴史物語

110 いちほら文化財めぐり

小湊鉄道

高滝駅周辺の文化財

平安時代から続く高滝神社

高滝駅から徒歩10分ほどの所にある高滝神社は、901年に作成された歴史書『日本三代実録』に名が見られる古社です。

1727年に建立された社殿は、本殿と幣殿、拜殿から成る権現造りで、末社社殿では、県内に類例のない合祀社殿であり、市の指定有形文化財に指定されています。

神社を覆う「高滝神社の森」は、クリヤクヌギなどの落葉広葉樹に、アラカシやヒイラギな

歴史を伝える光厳寺

高滝神社から徒歩20分ほどの所に、光厳寺があります。光厳寺は、江戸時代中期頃まで高滝神社を管理する別当寺として栄えました。

本堂の両界大日如来坐像は、金剛界・胎藏界の両像を一对で表した珍しい作例で、南北朝時代の仏像です。さらに、両界大日如来坐像に向かつて右側に安置される不動明王坐像は、像高88cmの寄木造りで、1718年



権現造りの高滝神社社殿

の作とみられます。

本堂外壁の正面には、3面の欄間彫刻が取り付けられています。江戸時代の彫り物大工「初代伊八」の作で、中央には波間に身を躍らせ、宝珠を握る龍の姿を表した「波に龍」、左側には「寒山」、右側には「捨得」という中国唐代の詩僧の姿がそれぞれ彫られています。この仏像3軀と欄間彫刻は、市指定の有形文化財に指定されています。

問合せ先 ふるさと文化課 ☎ 9853